

■ LS BRIGHTRING SUV
(エルエス・ブライトリング・エスユーブイ)



■ LS JUBILEE SUV
(エルエス・ジュビリー・エスユーブイ)



ワークでは、ラグジュアリーカーに向けたホイールを多数ラインナップしている。その中の1つが「LS」ブランドのこれらのホイール。20～24インチの大径サイズをラインナップに持ち、ランドクルーザー200や100用の5H・150だけではなく、ブラドやFJクルーザーに装着可能な6H・139・7もラインナップする。

こうして見ると分かりやすいが、スポークセンターのリングによって、開口部の大きさが違っているのが分かる。このリング自体がデザインにインパクトを与えているだけではなく、剛性アップにも役立っている。フランジは、ビードロックリングを造形に取り込みタフネスを主張するデザインで、リングを際立たせるためにアンダーカット加工も施している。フランジカット面のピアスは、ビードロックリングを固定するボルトを演出。フランジ部には「WORK」のロゴが刻まれている。



■アッシュドチタンカットリム



■マットカーボンカットリム

■ CRAG「T-GRABIC」(クラッグ「ティーグラビック」)
17×8.0J(+20) 6H-139.7 価格:45,000円(税別)(ランドクルーザー以外の車種に装着可能な他サイズあり)



ワークから新しいホイールの登場である。その力強いデザインは、過酷な競技を通じて得たデータをもとに作られている。本物だからこそ放つオーラがある。それが「T-GRABIC」である。

競技からフィードバックしたあらゆる地形を制するタフネスなホイール

ホイールを選ぶ時の基準は何だろうか。サイズやデザインはもちろんのこと、価格、そして性能だろう。いくらかお気に入りのホイールが見つかったとしても、サイズが合わなければ装着できないし、オフを走るランドクルーザーだからこそ、性能も大事である。

ホイールメーカーである「WORK(ワーク)」から新しく登場したのが「T-GRABIC(ティーグラビック)」。自動車競技の中でも、もっとも過酷な競技として知られるBAJA 1000や、アジアクロスカンントリーラリーの参戦車両に供給しているモデルがベースとなっており、それらのレースに参戦しているオフロードレーサーの選手から得たフィードバックをもとに開発した、シグネチャーモデルである。つまり性能については申し分ないということだ。

実はそのことは、名前からもうかがえる。GRABICとは造語で、「重力(Gravity)」「跳ねる(Bound)」「衝撃(Impact)」「制御(Control)」の各英単語を組み合わせたもの。最初のTは「地形(Terrain)」を意味している。ちなみにブランド名でもある「CRAG」だが、「Country Racing Gear」から取ったもの。「あらゆるメッシュ」

Eーションを遊び切るタフでカジユアルなアクティブギア」の意味が込められている。

さて、このT-GRABICだが、特長のひとつにかなり凝ったデザインが挙げられる。通常、中心部からリムに向けてスポークがあるが、そのスポーク途中にリングがひとつあり、そのリングを境にインとアウトで開口部の大きさが異なる。二重に重なる歯車型のスポークデザインと言えは分かりやすいだろう。これがデザインに躍動感を与えているのだが、このリング自体、剛性アップにも役立っている。

リム部はタフネス感を強調するビードロックリングデザイン。そして、コンペティションオフロードホイール譲りのスベックと言え、リムフランジ外側のステップ形状の外周部を一段下げていること。要はフランジ部分が平らではないのだが、これによって、フランジとタイヤの間に石や泥を詰まりにくくしている。

ホイールカラーだが、マットカーボンカットリムと、アッシュドチタンカットリムの2色を設定。サイズは、ブラドやFJクルーザーにマッチする17×8.0J(+20)をラインナップする。

